※令和４年度以降入学生用

学校番号	317

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」・「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書と地図帳を用いた学習が中心になります。
世界各国の国名や都市名などの基本的な知識から、世界の諸地域の生活や日本との関係などを多角的に考えます。学習した知識が様々な分野と関連しあうので、真面目に授業に取り組んで、コツコツと勉強をしていくことが一番大切です。

２　学習の到達目標

① 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
② 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連 を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
③ 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したり，考察したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について，国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第一部　地図で捉える現代世界	一章　地図と地理情報ｼｽﾃﾑ 1節　地球上の位置と時差 2節　地図の役割と種類 二章　結びつきを深める現代社会 1節現代世界の国家と領域 ２節グローバル化する世界	a 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について，地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について理解している。 b 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的･多角的に考察し，表現している。 日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 日本の位置と領域，排他的経済水域の特徴，日本の領土をめぐる問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度（授業中の質問に対する応答、机間巡視等による）

※令和４年度以降入学生用

	第二部　一章　生活文化の多様性と国際理解	1節　世界の地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 3節　世界の言語・宗教と人々の生活	a 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度（授業中の質問に対する応答、机間巡視等による）

※令和４年度以降入学生用

2	第二部　一章　生活文化の多様性と国際理解	4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	a 世界の人々の特色ある生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b 世界の人々の生活文化について，その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c 生活文化の多様性と国際理解について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度（授業中の質問に対する応答、机間巡視等による）

※令和４年度以降入学生用

	第二部　二章　地球的課題と国際協力	1節　複雑に絡み合う地球的課題 2節　地球環境問題 3節　資源･エネルギー問題 4節　人口問題 5節　食料問題 6節　都市･居住問題	a 世界各地でみられる地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住･都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住･都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b 世界各地でみられる地球環境問題，資源･エネルギー問題，人口･食料問題及び居住･都市問題などの地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c 地球的課題と国際協力について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度（授業中の質問に対する応答、机間巡視等による）

※令和４年度以降入学生用

3	第三部　持続可能な地域づくりと私たち	一章　自然環境と防災 1節　日本の自然環境 2節　地震･津波と防災 3節　火山災害と防災 4節　気象災害と防災 5節　自然災害への備え 二章　生活圏の調査と地域の展望 1節　生活圏の調査と地域の展望	a我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c 自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 授業態度（授業中の質問に対する応答、机間巡視等による）

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度